

学習用パソコンを活用した情報活用能力

学習用パソコンを活用した情報活用能力の体系表

令和5年2月版

		小学校			中学校
		1-2年	3-4年	5-6年	1,2年
基本能力		コンピュータの基本的な操作を行い、写真撮影ソフトの基本操作、電子ファイルの呼び出しや保存などができる。	キーボードによる文字の打ち込みや、電子ファイルの検索、インターネット上の情報の閲覧・検索などができる。	キーボードによる文字の打ち込みや、電子ファイルの閲覧、目的に応じたアプリやサービスの選択と操作、電子データの送受信などができる。	キーボードによる文字の打ち込みや、電子データの閲覧、目的に応じたアプリやサービスの選択と操作、クラウドを介した送受信などができる。
課題の設定	目的	既習の知識や技能を用いて	既習の知識や技能を用いて	既習の知識を用いて	既習の知識を用いて、内容を整理して計画を立てる。
	活動内容	・カメラ機能を使って、写真を撮影 ・SKYMEET Cloudを使って共有された資料や情報を閲覧する	・インターネットで検索する ・SKYMEET Cloudを使って共有された資料や情報を閲覧する ・Teamsを使って共有された資料から情報を集める	・インターネットで検索する ・Teamsを使って共有された資料を閲覧する ・Formsを使ってアンケートを実施する	・インターネットで検索する ・Teamsを使って共有された資料を閲覧する ・Formsを使ってアンケートを実施する
情報の収集	目的	身近なところから情報を得る様々な情報も収集し整理する	既習の知識や技能を用いて情報を収集する	目的に応じた検索メディアを選択し、特定の情報を収集し整理する	既習の知識を用いて、検索メディアの活用を組み合わせ、目的に応じた情報収集・整理する。
	活動内容	・カメラ機能を使って、写真を撮影して情報を集める ・SKYMEET Cloudを使って共有された資料や情報を閲覧する	・インターネットで検索する ・SKYMEET Cloudを使って共有された資料や情報を閲覧する ・Teamsを使って共有された資料から情報を集める	・インターネットで検索する ・Teamsを使って共有された資料から情報を集める ・Formsを使ってアンケートを実施し、情報を収集する	・インターネットで検索する ・Teamsを使って共有された資料から情報を集める ・Formsを使ってアンケートを実施し、情報を収集する ・Teamsで共同編集機能を使って、情報の考えを収集する
整理・分析	目的	既習の知識や技能、調べた資料などを用いて、情報を整理する	既習の知識や技能を用いて情報を整理したり、新たな考えや意見を提出したりする	目的に応じた表やグラフを用いて、既習の情報を整理したり、新たな考えを提出したりする	目的や状況に応じて適切な整理したり、情報の整理と新たな考えを整理し、整理に対する表現を工夫して行う。
	活動内容	・SKYMEET Cloudの共有ノートを使って、自分の考えを入力して、情報を整理したり、共有したりすることや情報を整理する	・SKYMEET Cloudの共有ノートを使って、自分の考えを入力して、情報を整理したり、共有したりすること ・WordやPowerPointを使って、発表する	・SKYMEET Cloudの共有ノートとグループウェア機能を使い、グループの仲間とともに情報を整理したり、共有したりすること ・Wordを使って、情報を整理したり、共有したりすること	・SKYMEET Cloudの共有ノートとグループウェア機能を使い、グループの仲間とともに情報を整理したり、共有したりすること ・WordやPowerPointを使って、情報を整理したり、共有したりすること ・Teamsで共同編集機能を使い、グループの仲間とともに情報を整理したり、共有したりすること
まとめ・表現	目的	自分の考えや意見、思いを整理し、おもしろく表現する	両者の考えや意見に対して整理し、相手の意見や思いを参考に表現する	目的や状況に応じて表現し、相手の意見や思いを参考に表現する	目的や状況に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーションなどによって表現・発表・説明する
	活動内容	・自分で調べた写真を使って発表する ・SKYMEET Cloudの共有ノートを使って発表する	・SKYMEET Cloudの共有ノートやグループウェア機能を使って自分の考えをまとめて発表する	・SKYMEET Cloudの共有ノートとグループウェア機能を使い、グループの仲間とともに考えをまとめる ・Wordを使って、自分の考えをまとめて発表する ・PowerPointを使って、自分の考えをまとめて発表する	・Teamsで共同編集機能を使い、グループの仲間とともに考えをまとめる ・PowerPointを使って自分の考えをまとめて発表する
振り返り・改善	目的	元で学びや活動の振り返り	学びや活動の振り返りや思いやり	学びや活動の振り返り	元で学びや活動の振り返り、より良い学びや活動に向けての改善の提案をする
	活動内容	・ノートなどに書いて振り返りや思いやりを表現する ・SKYMEET Cloudの共有ノートを使って、学習の振り返りをする	・SKYMEET Cloudの共有ノートを使って、自分の考えを入力して振り返りをする	・Formsを使って、学習の振り返りをする ・Teamsの共同編集機能を使って、振り返りを出す	・Formsを使って、学習の振り返りをする ・Teamsの共同編集機能を使って、振り返りを出す



?

課題の設定

【場面】 写真や動画を撮影する

【活用するツール】 カメラ

【手順】

①カメラ機能を使って、観察や分析したいものの写真や動画を撮る。

(ノートを写真に撮って提出、植物を写真に撮って観察、体育やプレゼンの練習を動画に撮って分析、など)

②写真や動画から、個人やグループで気づいた点や疑問点などを見つけて、課題を考える。

【メリット】

カメラを使い、これまで見えなかったものを可視化することで、新たな気づきや課題を見つけることができる。



↑ 【小5・理科】
カメラ機能で空の様子を撮影している様子



↑ 【小5・体育】
撮影した動画をグループで確認している様子



情報の収集

【場面】 気になったことを調べる

【活用するツール】
インターネット検索

【手順】

- ①机の横にかける、机の中に入れておくなど、学習用パソコンをいつでも使える環境をつくる。
- ②授業中に、気になったことや調べたいことについて、児童生徒が自分でインターネットで検索する。
- ③子供たちが自分の意志で、使うことが大切。

【メリット】

児童生徒が興味や関心を持ったことについて、自分で解決しようとする習慣が生まれる。



↑ 机の横にかけておくことで、学習用パソコンをいつでも使える環境



↑ 【中3・国語】
気になったことをインターネットで調べる



振り返り・改善

【場面】 前時の授業を振り返る

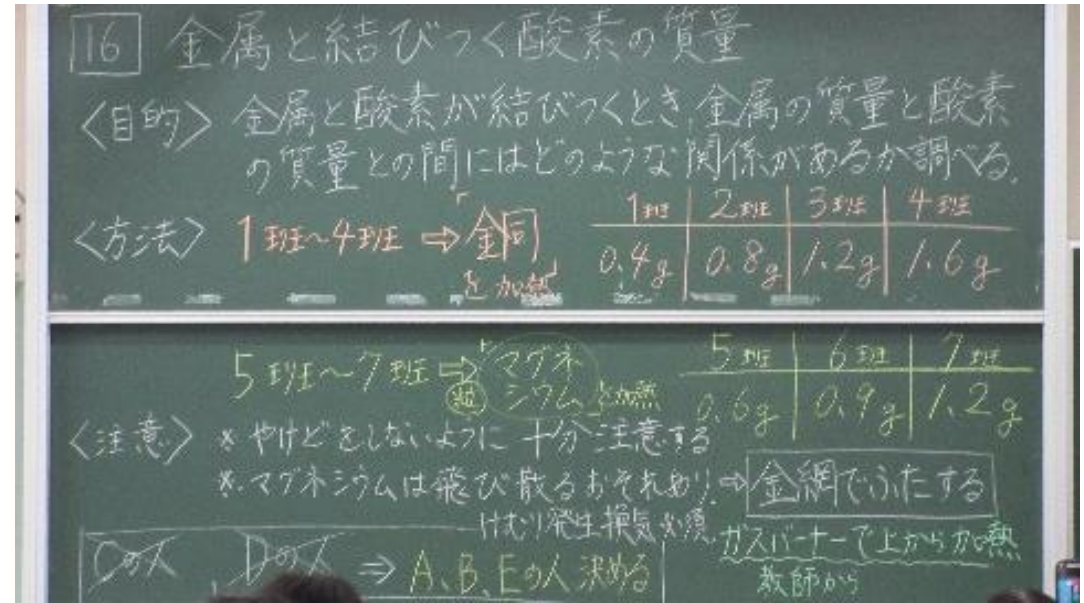
【活用するツール】 カメラ Teams

【手順】

- ①授業の板書などをカメラで撮影し、クラスのチームのファイルに格納する。
- ②次の授業の冒頭で、児童生徒がファイル（写真）を開いて確認し、前時の学習内容を振り返る。
- ③教員が撮影・格納しても良いが、児童生徒に任せることもできる。

【メリット】

板書の写真を蓄積することで、いつでも学習内容を振り返ることができる。家庭でも学びを振り返ることができ、授業を欠席した児童生徒にとっても有効である。



↑ 【中3・理科】 授業終了後の板書



撮影した写真をTeamsのファイルに投稿 ↑



振り返り・改善

【場面】 授業を振り返る

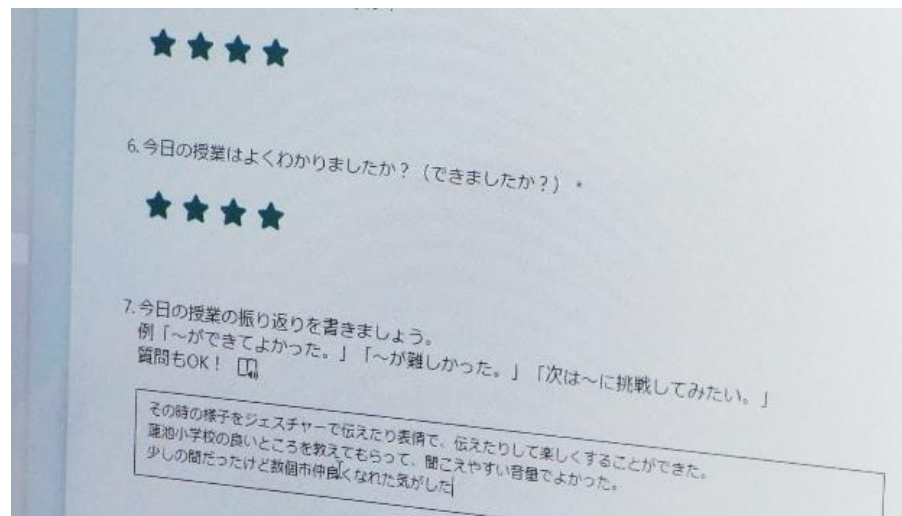
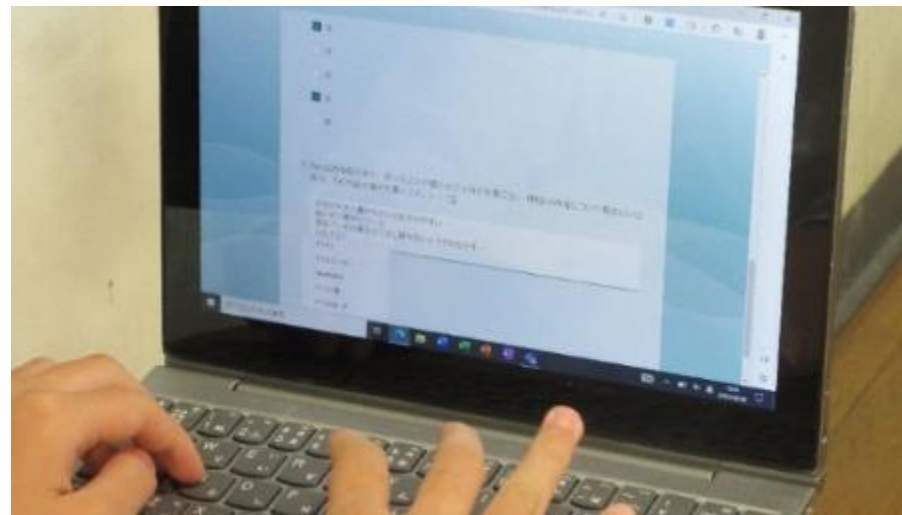
【活用するツール】 Forms

【手順】

- ①授業の振り返りシートを事前にFormsで作成する。
(項目例：理解できたか、何を学んだか、次はどのように学んでいきたいか、など)
- ②作成したシートを、Teamsを使ってクラスのチームに投稿する。
- ③授業のまとめの時間で、児童生徒が振り返りシートに学んだことなどを入力して送信する。

【メリット】

Formsの振り返りシートによって、教員は児童生徒の学習状況をすぐに把握できる。また、学びの履歴を蓄積することもできる。



↑【小6・外国語】
Formsに振り返りを入力している場面

“すぐ使える”振り返りシートのテンプレートは
こちら ([小学校低学年](#)・[小学校中学年～中学校](#))



まとめ・表現

【場面】
自分の考えをまとめる・発表する

【活用するツール】
PowerPoint、 SKYMENU Cloud 発表ノート

【手順】

- ①PowerPointやSKYMENU Cloud 発表ノート を使って、自分の考えや調べた内容をまとめる。
 - ②グループやクラス全体の前で、作成したPowerPoint等を提示しながら考えを発表する。
- ※作成したものは、Teamsにアップロードして、保存・共有することができる。

【メリット】

プレゼンテーションソフトを使うことで、児童生徒は表現方法などを工夫して考えをまとめることができる。発表する場をつくることで、発表のスキルも身につけることができる。



↑【中2・社会】
自分の考えをPowerPointにまとめる



↑【中2・社会】
グループでお互いに発表し合う



情報の収集



整理・分析



まとめ・表現

【場面】 協力して資料を作成する

【活用するツール】

Teamsの共同編集機能 (PowerPoint)

【手順】

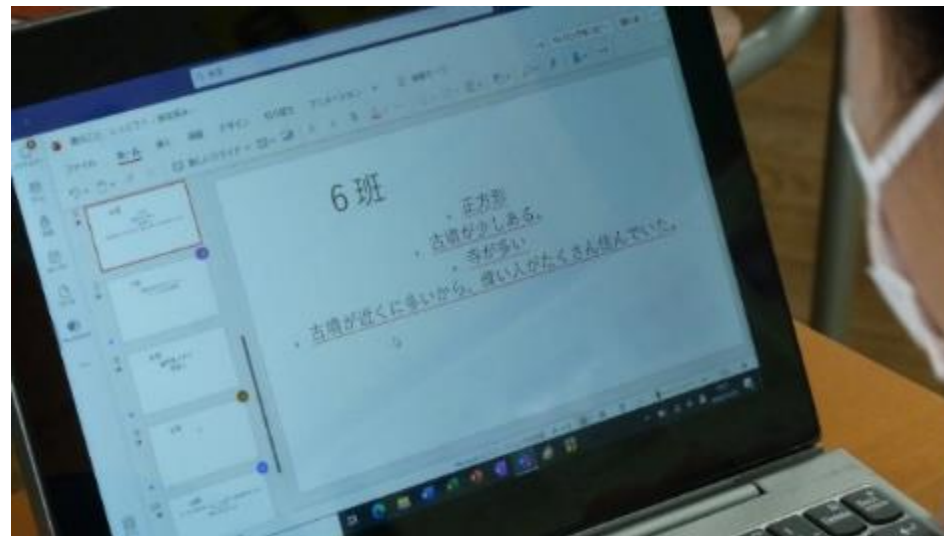
- ① Teamsのチームに、PowerPointのファイルをアップロードする。
- ② グループで児童生徒がファイル（スライド）に入力して協力して資料を作成する。

【メリット】

グループで協力して資料を作成することで、対話が広がり、考えを深めることができる。他のグループの考えも参照でき、自分の考えに活かすことができる。



↑ 【中2・英語】
グループ全員で一つの資料を作成する様子



↑ 【中2・社会】
全てのグループの資料を確認できる



情報の収集



整理・分析



まとめ・表現

【場面】 協力して資料を作成する

【活用するツール】

SKYMENU Cloud 発表ノート
グループワーク機能

【手順】

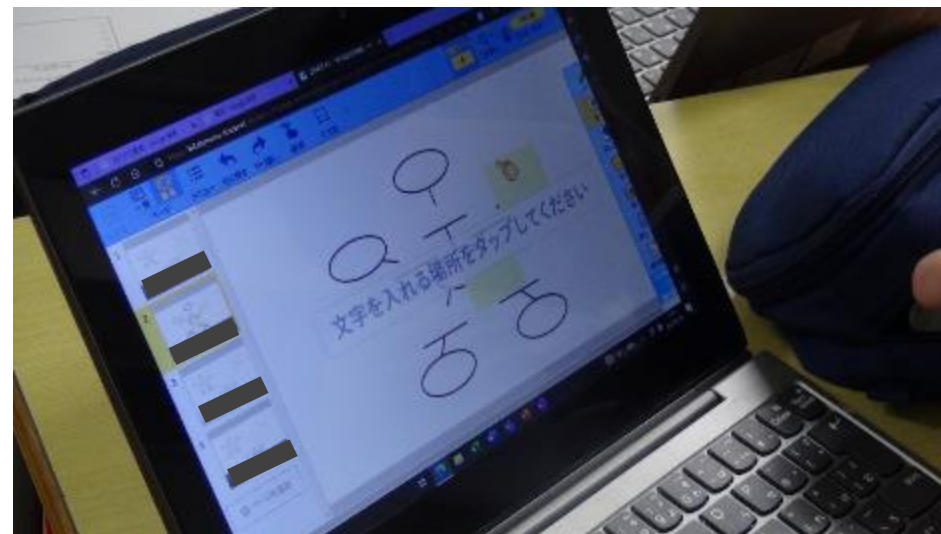
- ①発表ノート作成中に、グループワークを始める。
- ②グループに参加している児童生徒が、同時に1つのノートを作成、編集する。

【メリット】

複数の児童生徒が協力して資料を作成することで、お互いの考えを共有して話し合う場が生まれる。個別最適な学びと協働的な学びを一体的に行うことができる。



↑ 【小・総合】
話し合いながら、資料をまとめる様子



↑ 【小・総合】
みんなで一つの発表ノートを作成している様子



情報の収集



整理・分析



まとめ・表現

【場面】

クラスみんなの考えを参照する

【活用するツール】

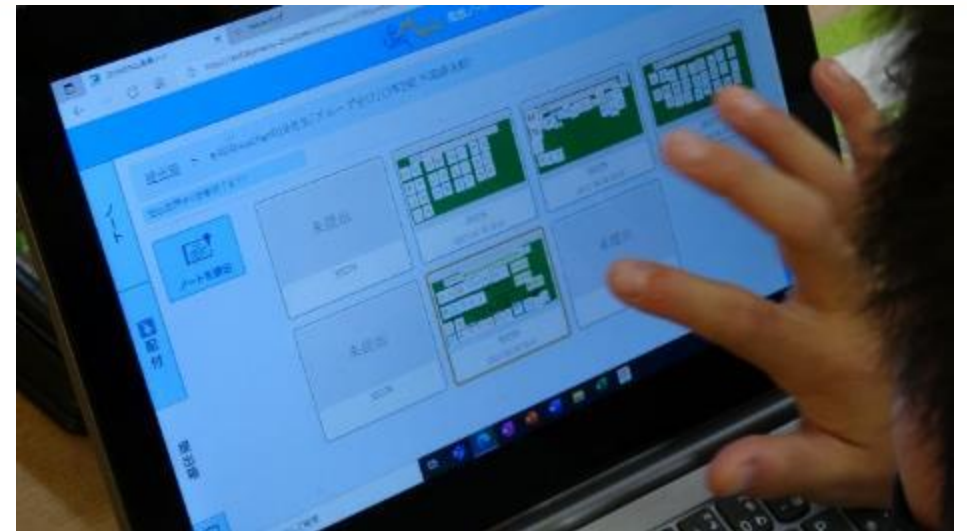
SKYMENU Cloud 発表ノート
提出箱閲覧機能

【手順】

- ①児童生徒から自分の考えをまとめた発表ノート（途中で可）を提出する。
- ②教員が「提出箱」で「学習者どうして提出物を閲覧できる」にチェックを入れる。
- ③一人一人の学習用パソコンの画面上に、提出された発表ノートの一覧が表示され、確認したい発表ノートを選んで閲覧する。

【メリット】

クラス全員の発表ノートをすぐに閲覧できるようになり、他の児童生徒の考えを参照し、自分の考えをさらに深めることができる。



↑【小・外国語】
クラス全員の発表ノートが一覧になっている様子



↑【小・国語】
クラスの友達の発表ノートを選んで閲覧している



情報の収集



整理・分析



まとめ・表現

【場面】 一人一人の考えを共有する

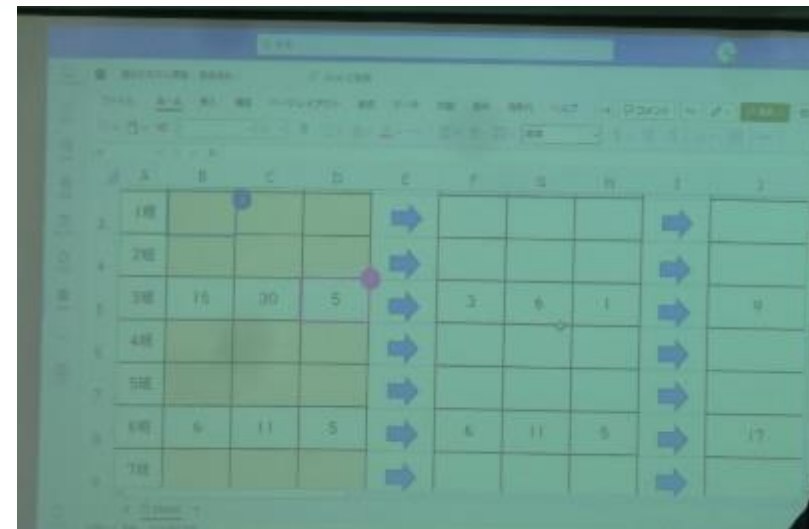
【活用するツール】
Teamsの共同編集機能（Excel）

【手順】

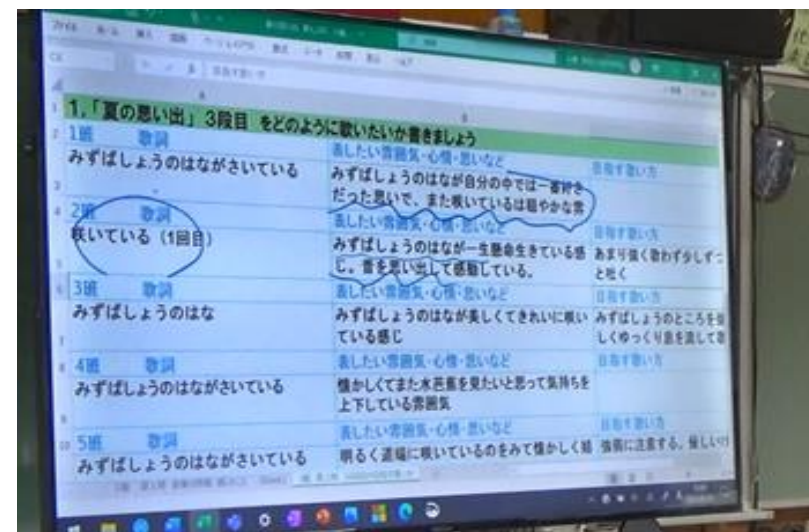
- ① 児童生徒が考えを入力しやすいように、Excelのシートを準備する。（例：出席番号や班の番号の入った枠を作っておく）
- ② Teamsのクラスのチームに、①で作成したファイルをアップロードする。
- ③ 課題に対する考えを、各自がファイル（シート）に入力する。

【メリット】

教員も児童生徒も、すべての途中経過を参照、把握できる。
教員は一人一人の進捗に合わせた支援を行うことができる。
児童生徒は、友達の記述を参考に、自分の考えをさらに深めることができる。



↑ 【中2・理科】
実験結果をExcelシートに入力している様子



↑ 【中2・音楽】
全員の考えがExcelシートに入力されており、
考えを参照することができる